

## 会 議 録

会議の名称		令和3年度第1回 春日部市立医療センター運営委員会	
開催日時	令和3年8月17日(火)～9月21日(火)	開 会	-
		閉 会	-
開催場所		書面開催	
議長(会長等)氏名		竹田 広樹 (副委員長)	
出席者	委員氏名	(出席人数：14人) 石川 友和、松本 浩一、並木 敏恵、佐藤 一、山口 剛一、 河井 美久、栄 寛美、武 幹也、竹田 広樹、岡田 新司、遠藤 賢、 滝沢 孝臣、村田 睦剛、高橋 靖	
	説明者 その他		
	事務局		
次第及び公開、一部公開、非公開の区分	1 報告事項 ①令和2年度春日部市病院事業会計決算(案)について：公開 ②令和3年度春日部市病院事業会計補正予算(案)について：公開 ③令和2年度春日部市立看護専門学校特別会計決算(案)について：公開 ④令和3年度春日部市立看護専門学校特別会計補正予算(案)について：公開 ⑤春日部市立医療センター運営状況について：公開		
一部公開・非公開の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：		
配布資料	①令和3年度第1回春日部市立医療センター運営委員会資料		
会議録の作製方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録		
	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録		
	<input type="checkbox"/> 要点記録		
会議録署名の指定	-		

①令和2年度春日部市病院事業会計決算（案）について

委員からのご質問等	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院収益、外来収益、その他医業収益が元年度と比較して減となっている理由は</li> <li>・入院患者数、外来患者数が減となった理由は</li> </ul>	<p>入院収益及び入院患者数の減につきましては、新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すため、緊急性の低い入院や手術を延期する措置をとったこと、また入院につながる人が多い紹介患者が少なかったことが主な要因となっております。</p> <p>外来収益及び外来患者数の減につきましては、紹介患者の減少に加え、市のがん検診などの延期により当センターでの2次検診受診者が減少したこと、また、薬を可能な限り長期処方としたことで来院回数が減ったことなどが主な要因と考えております。</p> <p>その他医業収益の減につきましては、新型コロナウイルス感染症患者の受入体制を整えるために行った病棟編成に伴い、各病棟において有償個室を重症管理や感染予防などの病院都合により使用することが増え、室料差額収益が大幅に減少したことによるものです。</p>

②令和3年度春日部市病院事業会計補正予算（案）について

委員からのご質問等	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・債務負担行為について、当該3件の業務委託を追加した理由は</li> </ul>	<p>債務負担行為を追加した業務委託3件につきましては、令和4年3月で契約期間満了となるもので、競争性の確保や適正な契約のため、入札公告などの契約準備について期間を要することから追加したものです。</p>

③令和2年度春日部市立看護専門学校特別会計決算（案）について

委員からのご質問等	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳出において新型コロナウイルス感染症の影響があるようだが、今後の対策は</li> </ul>	<p>今後の新型コロナウイルス感染症対策につきましては、「三つの密」が生じる場を徹底して避け、マスク装着や手指消毒などの感染防止対策をより一層推進するとともに、授業の効果的な実施にあたって必要な機器の充実を図り、また関係機関や実習施設との綿密な調整を行うことにより、学生の学習機会を確実に確保してまいります。</p>

④令和3年度春日部市立看護専門学校特別会計補正予算（案）について  
委員からのご質問等はありませんでした。

⑤春日部市立医療センター運営状況について

委員からのご質問等	事務局の回答
<p>・入院、外来、救急、手術ともに令和2年度と比較して増となっている理由は</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、紹介患者の減少や緊急性の低い入院や手術を延期するなどした結果、入院・外来ともに収益及び患者数が減少いたしました。その対応としまして、救急外来エリアに発熱外来及び帰国者接触者外来を設置し、外来における検温や発熱者の動線を分離する対策を講じております。また、入院や手術前に新型コロナウイルスの検査を実施するなど、感染防止対策を徹底した上で、病院全体として一人でも多く受入れを行う努力を続け、新型コロナウイルスへの対応を継続しながら、外来、入院、手術などを抑制することなく実施していることから、令和3年度は以前の水準へ回復しつつある状況となっております。</p>
委員からのご質問等	事務局の回答
<p>・中期実施計画（新改革プラン）の進捗状況について、がん登録数、手術件数、分娩件数、救急受入件数において平成30年度以降、減少している理由は</p>	<p>がん登録数につきましては、平成30年度及び令和元年度は前年度比較では増となったものの目標値には達しませんでした。令和2年度は市のがん検診の延期などの影響を受けたものと考えております。</p> <p>手術件数につきましては、平成30年度及び令和元年度は、手術室の効率的な運営のため、一部の手術を外来にて実施する運用にしたことで件数が減となりました。令和2年度は、新型コロナウイルスへの対応のため一時的な制限を行ったことが要因となっております。</p> <p>分娩件数につきましては、令和元年度まで順調に伸びておりましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により妊娠・出産が減ったことが要因と考えております。</p> <p>救急受入件数につきましては、平成30年度及び令和元年度は受入要請に対する受入率は60%程度を維持したものの目標値には達しませんでした。令和2年度は救急搬送全体の件数が減少したこと、さらに、最も受入要請の多い内科において、新型コロナウイルス患者への対応により受入率が低下したことが要因となっております。</p>